

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 120 分

**解答形式**

客観式の設定が2問で、あとはすべて記述式。

**分量・難易（前年比較）**

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

英文の語数は2,160で、2年連続して2,000を超えている。本学部の中で2,000語以上の英文が使われたのは、2014年度(2,039)、2017年度(2,268)、2022年度(2,150)だけだったので、比較的長めの英文と言える。

**出題の特徴**

- ・大問1題の構成は10年続いている。
- ・本学部では、設問はすべて英文の前に置かれている。
- ・字数制限のある内容説明問題が出題されるのが本学部の特徴で、今年度は「30字以内」が1問、「50字以内」が1問、「100字以上120字以内」が1問出題されている。

**その他トピックス**

- ・(I)と(IV)の内容説明問題は「意味するところを…説明しなさい」という指示になっており、いずれも指定字数を考慮して内容を検討する必要がある。
- ・(VII)には「筆者の思いや議論を踏まえながら…説明しなさい」という指示がある。
- ・例年よりも難単語が多く、辞書を使う機会が増したと思われる。
- ・漢字に関する記述部分は、具体的な漢字が思い浮かべば楽しみながら読むこともできそうだが、特に「梟」と「烏」は漢字が思い浮かばないと話についていけなくなる部分がある。

## &lt;大問分析&gt;

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
	読解総合	「五十音 — 外国人にとっての日本語学習の難しさ」 (2,160 words)	<p>内容説明 (3問)、空所補充 (2問)、下線部和訳 (3問)、和文英訳 (1問)</p> <p>(I)の run-in は「アプリ通知」のこと。feeling a little unclean は、その2段落後に書かれている a sense of unease や discomfort がヒントになる。</p> <p>(II)の選択肢にある sceptical は skeptical のイギリス綴り。and で順接的につながれた I don't find ... outrageous と合わせて考える。</p> <p>(III)の this word は前文の 'learning' を指している。直訳調では自然な日本語にならない表現には工夫が必要。</p> <p>(IV)は、50字以内でまとめるためには、情報をうまく取舍選択しなければならない。</p> <p>(V)は、which を代名詞 they に置き変えて考えれば、the more you poke ..., the less and less ( 5 ) they themselves start to seem となる。これを本文の語順にすると、下線を引いた方の the は省略されることが多い。</p> <p>(VI)は、解答欄から考えると、Which の指示内容を訳出する必要はないだろう。直訳調では自然な日本語にならない表現には工夫が必要。</p> <p>(VII)は、conspiratorial や didactic は辞書を引いてもそのままの訳語では文脈に合わないので工夫して訳出するのがよい。Let's talk. を状況に合わせて自然な日本語にするのは苦勞するかもしれない。all over the place は「でたらめで」という意味。</p> <p>(VIII)は、筆者の思いや議論をどこまで盛り込むべきか悩む。</p> <p>(IX)は、例年、本文中に参考になる表現が含まれる。</p>	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

- ・例年、設問のほとんどは記述式なので、正しい日本文・英文を書く訓練を積んでおくことが必要である。特に日本文は、自分の言いたいことが採点者に正確に伝わるような文章を心がけてほしい。
- ・内容説明の設問では、設問文から出題者の意図を汲み取ったうえで、英文中から解答の根拠となる部分を抽出する必要がある。100～120字といった字数制限のある説明問題では、解答の根拠になる部分が英文中で一箇所にとまっていない場合もあるので、過去の問題などを利用して、どの内容を盛り込むべきなのか判断する眼を養っておくとよい。
- ・辞書の持ち込みができるので、難しい語彙・語義に神経質になる必要はない。ただし、見たことのない表現や記憶のあいまいな表現を片っ端から辞書で確認している時間はないので、文系の他学部と同程度の語彙力は身につけておくべきだろう。